

# いのちの教育セミナー 2022

小・中学校  
の先生  
対象

## 今とめられる 「いのちの教育」

～ 臓器移植を題材とした授業の可能性 ～



グリーンリボンは  
移植医療のシンボルです。

今、学校教育では、生命の尊さについて考える道徳が教科化されるなど、「いのちの教育」が一層重視されています。

「いのちの教育」は、子どもの自己肯定感を高め、いじめを抑止することにつながることから、学校の教育活動全体で取り組むことが求められています。

本セミナーでは、臓器移植を題材とした「いのちの教育」の実践などを通して、子どもたちが生きる上での多様な価値観を育み、自己の生き方を深めていく教育の在り方について提案し、考えを深めていただきます。

参加費  
無料

●主催 日本教育新聞社 公益社団法人日本臓器移植ネットワーク(JOT) ●後援 文部科学省

2023年 3/12 日 13:00～16:30

【定員】  
70名(会場開催)  
300名(オンライン配信)

会場開催およびオンライン配信

対象 全国の小・中学校の教育関係者

要事前申込  
先着順締切

場所 エッサム神田ホール2号館 大会議室 〒101-0047 東京都千代田区内神田3-24-5 ●申込締切/2023年3月9日(木) 17:00

プログラム

基調講演  
13:00～13:30 (30分)

臓器移植の現状・教材紹介  
13:30～13:45 (15分)

授業実践発表①  
13:45～14:35 (50分)  
【休憩】(10分)

授業実践発表②  
14:45～15:15 (30分)  
【休憩】(10分)

パネルディスカッション・質疑応答  
15:25～16:05 (40分)

【終了・個別相談】16:05～16:30 (25分) …… 各先生方が個別相談実施(16:30まで) ※会場参加者のみ対象

飯塚 秀彦氏 (文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官)  
要としての道徳科の役割

(公社)日本臓器移植ネットワーク(JOT)

佐々木 昭弘氏 (筑波大学附属小学校 校長)  
小学校における「脳死・臓器移植」の授業

佐藤 毅氏 (東京学芸大学附属国際中等教育学校 教諭)  
実践のあゆみ ～25年史とこれからのウェルビーイングへ～

事前に募集した質問や課題について、各講演者より示唆いただきます。

お問い合わせ

日本教育新聞社 (いのちの教育セミナー2022事務局) ●メールアドレス plan@kyoiku-press.co.jp  
〒108-8638 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル 2F

●申込締切/2023年3月9日(木) 17:00

<https://www.kyoiku-press.com/jotseminar2022/>

参加  
申込

QRコードまたはURLより申込フォームにアクセスしお申し込みいただくか、  
下記の必要事項にご記入の上、FAXにてお申込ください。

FAX 03-3280-7075



### 申込書 いのちの教育セミナー 2022

フリガナ ●お名前	●勤務先名/所属	●役職	どちらかにチェック を入れてください
●資料送付先 ご住所 〒		<input type="checkbox"/> 道徳教育推進教師 または道徳主任である JOTから、一般的な臓 器移植に関する資料送 付を希望しますか <input type="checkbox"/> 希望する	参加 方法 <input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン 過去に参加された ことがある <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
●電話番号 ( )	●メールアドレス		

●臓器移植を題材とした授業実践について、疑問や課題に思っていること、確認したい点などがあれば、裏面や別紙を利用して「いのちの教育セミナー2022」申込と併せてFAXにてお送りください。内容は、パネルディスカッションで取り上げさせていただきます。

【個人情報の取り扱いについて】 ●主催者は、申込者様の個人情報を本セミナーに関するご連絡・資料の送付、今後のセミナー・研修・出版物などについてのご案内、メールマガジンの配信、営業活動全般および商品に対する問い合わせ、ご相談への対応に利用いたします。主催者のホームページにプライバシーポリシーを掲載していますので、ご確認ください。